

平成20年度 一般会計 予算見積 事業別概要書(当初)

款	2. 総務費	事業名	4. 歴史資料の調査・収集・保存等					
項	1. 総務管理費	細事業名	2. 市史資料調査・普及					
目	4. 市史編さん費	担当課・係	行政管理課 (執行課: )					

予算分析	臨時経費	継続事業	単独事業								(単位: 千円)	
	(歳入)	(歳出)	財源内訳									一般財源
要求額	0	1,439	要 求									1,439
決定額			決 定									

実施計画の内容	(実施計画における事業の概要)	施 策	英知を伝え、心豊かに明日を育むまちづくり/個性ある文化を創造し、継承するまちづくり/市史資料を収集、刊行し、							
	【市政の記録に関する業務】	施策体系コード	03-05-02-10-60			事業番号	33-1			
	行政資料の保存整理を進め、佐倉市の年間の出来事について『佐倉市史研究』へ掲載します。	総事業費	9,900千円			事業期間	平成18年度～平成22年度			
		年度別事業費	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度			
			1,980	1,980	1,980	1,980	1,980			

(事業実施に関する根拠法令)  
 公文書館法(昭和62年12月15日法律第115号)  
 佐倉市史編さん委員会条例(平成10年条例第2号)

< 事業に関する説明 >

(事業の説明) 佐倉に関する古文書等の歴史資料の調査及び収集を毎年継続して行っている。また、市民を対象とした「佐倉の歴史講演会」の開催や、『佐倉市史研究』の刊行により佐倉の歴史を市民へ伝えている。『佐倉市史研究』は投稿等による市民の歴史研究成果の発表の場としても活用されている。	(事業の目的) 調査・収集により佐倉に関する歴史資料の充実をはかる。また、資料から得られた佐倉の歴史の情報について、市史研究誌や講演会によって広く市民に伝えてゆく。	(事業の効果) すでに刊行されている『佐倉市史』の中で取り上げられていなかったり、新たに発見された佐倉の歴史資料から得られた情報を刊行物や講演会という形で市民へ提供している。それによって、佐倉の歴史を学ぶ意欲のある市民の知的欲求に添っている。
(事業実施上の問題点) 調査・収集すべき佐倉の歴史資料は各地に所在している。また、調査や資料の整理等には時間が必要である。そのため、この事業は数年単位ではなく、かなり長期的に調査を継続して実施する必要がある。	(前年度からの見直し点) 特になし	(見積についての特記事項) 特になし